

若者によるまちづくりワークショップ

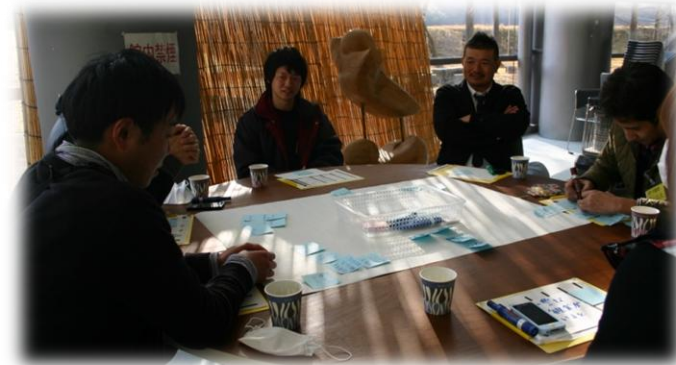
まちづくり協議会では、付知に住んでいる、または働いている若者を対象とした「若者によるまちづくりワークショップ」を開催しました。これは、若者にもっと「まちづくり」に関心を持っていただくこと、そして「まちづくり」を自分たちのこととして考えていただく「気づき」の機会とすること、併せて、若手リーダーの発掘などを期待して行いました。

3月10日(日)の午後から、アートピア付知交芸プラザで、20代から40代までの子育て世代34人の方に参加していただき開催しました。

全員が発言でき、参加者の創意で結論に導けるワークショップ形式で行い、ファシリテーター(進行役)を八尾哲史氏(大阪府在住)にお願いしました。

最初は硬い雰囲気ของ皆さんも、ゲーム形式によるグループ分けやフリップを使った意見発表により、体を動かし和やかな雰囲気の中意見交換ができ、参加者同士の横の繋がりもできました。

後半は5つのグループにわかれ、一人ひとりが「20年後の付知が〇〇だったらいいな」を考え意見をたくさん出しました。その中からグループ毎にベストアイデアを一つ選び、それについてアイデアを重ね、併せて「今からできること」も考え、グループの意見として発表しました。



最後に各グループの発表内容を全員が投票し順位を決めました。1位に選ばれたのは「付知川リバーパーク構想(1グループ)」で、ファシリテーターの八尾さんから賞が贈られ、「まちづくりは『まち協』に任せることなく、自分たちもアイデアの実現に向けて活動して頂きたい」とコメントしてくださいました。

～各グループで提案された意見～

【1グループ】～付知川リバーパーク構想～

- ◆プレゼンテーション：付知川を世界的にも有名に。一度来ただけでは遊びきれない、川にまつわるあらゆる遊びが味わえる空間の整備。リピーターを増やし、定住に結びつきたい。
- ◆今からできること：大人も子供もみんな川で清掃に参加して、徐々に整備する。

【2グループ】～昭和のまち構想“人”が集まる場所づくり～

- ◆プレゼンテーション：「付知は職人の町」昭和を支えた職人による町おこし。職人の知恵や技術に関わるイベントの開催。郷土料理を振る舞える場所作り。それで人を呼ぶ。
- ◆今からできること：木工コンテストの開催。ゆるキャラ。昭和のまちTシャツづくり。



【3グループ】～付知の人口を増やす～

- ◆プレゼンテーション：人は力である。人を増やすことから。付知に住んでもらうために土地をプレゼントする。地元の木、地元の大工で家を建てる。税金を優遇する。
- ◆今からできること：知り合いに付知へ移住してもらう。子供を増やす。



【4グループ】～古い町並み景観で人を呼ぶ～

- ◆プレゼンテーション：旧道沿いに昔の町並みを取り戻し観光名所とする。屋根のひさしを平入り方向にし、街灯や電柱、舗装も茶色または石畳で整備する。まちなかににぎわいを呼ぶ。
- ◆今からできること：GINZA 会が中心となり、修景後の町並みイメージを作成する。



【5グループ】～御神木を軸とした移住～

- ◆プレゼンテーション：御神木を地域ブランドとし、その産地である付知を聖地化し観光客を取り込む。国有林を活かした環境教育。農地の規制緩和と農地付きの安い住宅の提供。
- ◆今からできること：御神木ストラップ作成。神宮備林散策ツアー。空き家情報の提供。



～参加者アンケートから～

ワークショップというものに初めて参加しました。お互い知らない人同士でも、同じ事について意見交換したりして交流を深めることができているなと思いました。

中津へ勤めている人がもっといるといいかな・・・。

会議やワークショップを開く事はとても大事ですが、参加している人だけの意見しか反映されなかったり、何か取り組みをしても、『その団体の人だけが、がんばってる状態で、町の人のお大半は何にも知らない』ということになってしまおう。『こうゆう事をしたい』、『こうしたらどうか?』という意見などを自由に気軽に書き込めたり、投票したりできるような場所があると良いかと思いました。

自分の住む町の良いところをみんなで再発見して、胸張って『ここが良いところ!』って言う所を出せればもっと現実的な話ができそうな気がします。

普段から知っている人達でも、『まちづくり』の事に関して話をする事があまりない中で、こういった機会をもっといただきとてもよかったです。

『とにかく交流』の言葉通り、町の人同士の交流の機会がたくさんあって、みんなが何でも言い合えるような仲になれば良いと思います。

参加者のほとんどの方が積極的に話し合いに参加していて良かったと感じました。こういった取組がほとんど行われていないので、とても良い機会だったと思います。

付知として守って行く事、自然（川、山）、文化（祭り、歴史）、人（住人）。
自由な発想と行動できる仕組みや、交流できる場があるといいと思う。
小さい頃からの取り組みも必要ではないか？地域全体での温度差があるにせよこれから先を考えた取り組みがとても重要に思います。

まちづくり協議会では今後も皆様のご意見を伺いながら、大切な寄付金を有効に活用させていただきます。

ご意見等ありましたら、事務局またはホームページまでお気軽にお寄せください！

編集・発行 付知町まちづくり協議会 広報委員会 ホームページ <http://www.tsukechi-machikyo.org>